

## 「第2回栗東市健康づくり推進協議会」でのご意見

連番	ご意見	市の考え方
1	24ページの定年後の活動支援の記載について、「男性をはじめ」という表現にしてはどうか。	男女に関わらず取り組むべき内容と考え、性別に関する記載を削除します。
2	休養・こころの健康に栗東市の自殺対策計画のことを追加できないか。	取り組みの「こころの健康づくりの啓発」「ゲートキーパー研修の実施」が自殺対策計画の内容であり、今の記載のまま進めさせていただきます。
3	休養・こころの健康のあいさつ運動について、民生委員全員がしているわけではなく、スクールバンドさんが活動しているところもあるため、各学校の門と記載されると実態に合わない。また、子育てをしている親や孫がいる祖父母の民生委員の方があいさつ運動をされているというところもあるため、記載内容を改めて相談したい。	記載を調整します。
4	休養・こころの健康に「ありがとうと言える子育て」運動の記載について、内容を検討・調整したい。	記載を削除します。
5	たばこ・アルコールのみんなの取り組みについて、「喫煙はずっとしません」という記載に変更してはどうか。	いただいたご意見をもとに、記載を変更します。
6	喫煙について、県の数値を目標指標に位置づけることはできないか。	この部分のみ県のデータを採用しますと、他のデータとの整合性がとれなくなることや、これまでの状況と今後の状況を経年的にみていくためにも、これまでどおりの指標(およびデータ)とさせていただきます。
7	現状と課題のタイトルについて、「お酒は1日1合」といったような記載の方が、見た人にとってわかりやすいと思う。	キャッチフレーズやメッセージ性のある表現というよりも、現状と課題の概要を示すという意図で、今のままの表現とさせていただきます。コラムに飲酒量のめやすをわかりやすくイラストを添えて掲載いたします。
8	ボランティア活動の活性化について、ボランティア市民活動センターは社会福祉協議会の管轄であることから、担当課に社会福祉協議会の記載の追加をお願いしたい。	いただいたご意見をもとに、担当課を追加します。